GT-R Magazine 特別編集
OWNERS FILE 2021

表紙写真：木村博道　目次写真：増田貴広（本誌）
表紙デザイン：瀬戸 学（EAGLE）

CONTENTS

6 GT-R Magazine × FUJI SPEEDWAY
R's Meeting 2021 in 富士スピードウェイ
集えることの歓び

13 完璧な青空のもと富士に集結した240台
俺のR、わたしのRを見てください！
14 PGC10／KPGC10
16 BNR32　41 BCNR33
55 BNR34　80 R35

96 Rチューニング&メンテの最前線を提案する
富士に集ったGT-Rの巧者たち

112 P12駐車場でも新スタイルの愛車撮影会を初開催！
俺のR、わたしのRを見てください！ Part 2

127 全エントリー車両から紐解く最新R事情
GT-Rオーナー白書2021

STAFF

Publisher
宮木敏也　TOSHIYA MIYAKI

Producer
山本　亨　TORU YAMAMOTO

Editor in Chief
野田航也　KOYA NODA

Editor
松本奈巳　NAMI MATSUMOTO

Writer
増田髙志　TAKASHI MASUDA
髙橋浩司　KOJI TAKAHASHI
石川大輔　DAISUKE ISHIKAWA
佐藤　圭　KEI SATO
山崎真一　SHINICHI YAMAZAKI
畑澤清志　KIYOSHI HATAZAWA

Photographer
北畠主税　CHIKARA KITABATAKE
木村博道　HIROMICHI KIMURA
渡部祥勝　HIROKATSU WATABE
柳田由人　YOSHITO YANAGIDA
髙松　弘　HIROSHI TAKAMATSU
小林岳夫　TAKEO KOBAYASHI
川澄智史　SATOSHI KAWASUMI
佐藤　圭　KEI SATO
小林　健　KEN KOBAYASHI
増田貴広　TAKAHIRO MASUDA

Graphic Designer
イーグル　EAGLE
衣人　COROTO

株式会社交通タイムス社
〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-13-7
編集部　☎03・6803・3985
販売部　☎03・6803・3982
営業企画部　☎03・6803・3983

©KOTSU TIMES SHA CO.,LTD.

※写真・記事・イラストの無断転用などを禁じます。
万一、落丁・乱丁などの不良がございましたら
販売部までお送りください。
良品とお取り替えいたします。

R's Meeting
GT-R Magazine × FUJI SPEEDWAY
R's Meeting 2021 in 富士スピードウェイ
集えることの歓び
令和3（2021）年10月24日（日）。今年で12年連続となる「R's Meeting」を無事に開催することができた。
これほどまでにくっきりとした富士山の姿を望めるのは本イベントとしては初めてのことだ。
昨年はコロナの影響で無観客となったものの、今回は2年ぶりに一般来場者も迎え入れての有観客開催が叶った。
GT-Rが全国各地から集結するのはもちろん、オーナーやファンたちが集い、同じ時間と空間を共有する。
このイベント最大の目的は、GT-Rを介して「人と人が繋がる」ことなのだとあらためて実感した
文：野田航也（本誌）　写真：北畠主税／木村博道／増田貴広（本誌）
NISSAN SKYLINE GT-R

有観客で開催することの意義

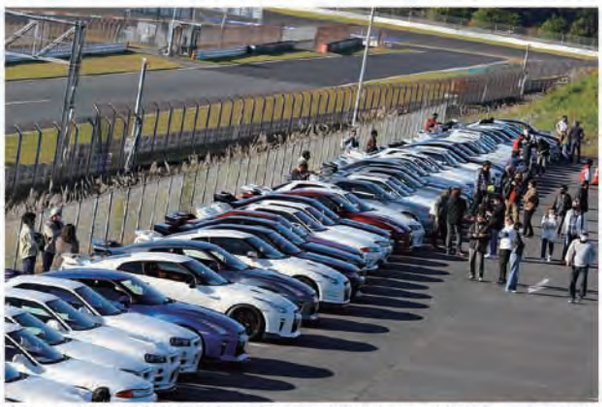
快晴の富士に集った同士たち

当日はゲートオープンの6:30前から入場待ちのGT-Rが列を作った。一般来場可の発表がイベント直前になってしまったにも関わらず多くのRファンが駆け付けてくれた

今年も愛車撮影会には募集台数を大幅に上回る応募をいただいた。撮影の順番を待つ間も参加者の皆さんのマナーは素晴らしく、毎年スムーズに進行できる。感謝です！

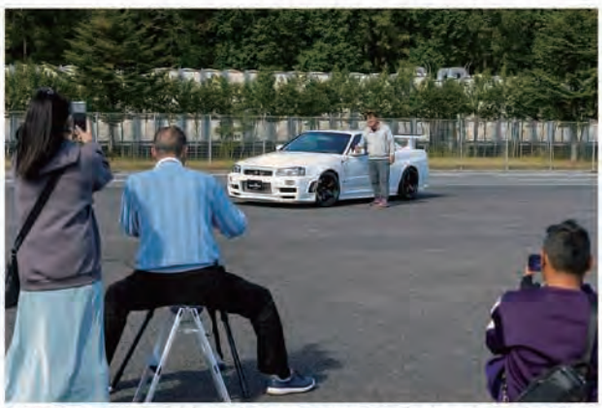
GT-Rを知り尽くすメーカー＆ショップがブースを出展。今年も各ブースでは注目のデモカーや新製品、新しい提案などが数多く披露された。詳細は本誌96ページ〜にて

ステージトラックを用意してトークショーも復活。会場内ではマスク着用はもちろん、スタンスを取るなど皆さんにご協力をいただいたお陰で安全に開催することができた



イベント広場隣の「P12駐車場」は車両のみを撮影する「愛車撮影会Bコース」の会場として使用。GT-Rだけの専用パーキングということもありギャラリーも多かった

ステージ前には日産自動車の出展ブースを設置。最新モデルのR35GT-Rは言うに及ばず、国内ではまだ正式発表されていない「Zプロト」もこの日のために特別展示！



GT-R Magazineをはじめとする各メディアで活躍中のプロカメラマンによる撮影会。参加者は掲載写真をプリントやデータとして購入することも可能（95ページ参照）

各ブースでは工夫を凝らした展示が年々進化。数年前からドンガラのボディやエンジン単体などが登場し始めたが、今回はこれで自走可能という中身だけのR35GT-Rも！

イベント当日のステージやブース紹介はGT-R Magazine公式YouTubeチャンネルで配信中!
bit.ly/2ZZlkvx

457台の参加車両、4,218人の来場者とともに

GT-Rが繋ぐかけがえのない結び付き

悲願だった有観客での開催 好天に恵まれ笑みも溢れる

『GT-Rマガジン』と『富士スピードウェイ』が共同で主催するGT-Rの祭典「R'sミーティング」は、今年で12年連続・通算14回目の開催となった。令和3（2021）年は7月中旬以降、全国的に新型コロナウイルス感染が猛威を振るったが、9月に入ってから落ち着きを見せ始め10月1日には緊急事態宣言も全面解除に。イベント本番の10月24日（日）に向けて、徐々に明るい兆しが見えていた。昨年は無観客開催とせざるを得なかったが、今年は2年ぶりに一般来場者を迎え入れる形で「R'sミーティング2021」を開催することができた。

会場は富士スピードウェイ内の「イベント広場」で、事前の申し込みで無観客開催の可能性があることに同意いただいたメーカー／ショップ24社がブースを出展。そして、本イベントの人気コンテンツである「愛車撮影会」（事前応募の抽選式）にエントリーした240台の歴代GT-Rが会場に華を添えてくれた。GT-Rマガジンで活躍するプロカメラマンによるこの撮影会は、毎年かなりの高倍率になることから、今回はイベント広場に隣接する「P12駐車場」を「もう一つの愛車撮影会」として初めて運用することに。こちらにも多くの事前エントリーいただき、当選した217台のGT-Rがズラリと並んだ。本誌では当日エントリーしたすべてのGT-Rを掲載しているので、じっくりとその晴れ姿をご覧いただければと思う。

また、昨年は中止としたトークショーも開催。今年は「R32生誕32周年」ということで、R32の開発に尽力された元日産自動車・R32商品主担／R33商品主管の田口浩氏、R32実験主担／R33・34商品主管の渡邉衡三氏、そして日産自動車 車両実験部 テクニカルアドバイザーの加藤博義氏を迎えて「R32開発陣トークショー」を開催した。

また、R32と言えばグループAやN1耐久などレースでの活躍も外せないということで「レジェンドドライバートークショー」と題し、かつてR32を駆ってグループAに参戦した鈴木利男氏、木下隆之氏、N1耐久シリーズチャンピオンの桂伸一氏もゲストとして来場、当時のレースでの逸話を披露してもらった。

そして、現行モデルのR35に携わる日産自動車 R35統括責任者の田村宏志氏とR35車両開発責任者の川口隆志氏も特別ゲストとしてステージに登壇。巷で話題を呼んでいるR35 2022年モデルについて「本音トーク」を繰り広げていただいた。それぞれのトークショーの模様は右ページ下に記載しているGT-Rマガジン公式YouTubeチャンネルで視聴することができるのでぜひご視聴を。本イベントでしか語れない（明かせない）貴重な話をご本人の生の声で聞くことができる。

イベントのフィナーレでは、「来年もR'sミーティングを開催します」と宣言させていただいた。もちろん、開催日程を含めてまだ具体的なことは決まっていないのだが、昨年、今年と難しい環境下でもR'sミーティングを開催できたのは、当日来場いただいたGT-Rオーナーおよびファンの皆さまのご理解とご協力があったからこそ。久々に同士が集い、会場内は一日中満面の笑みで溢れていた。それこそがR'sミーティングを続ける意義なのだ。